

## 令和 4 年度電子申請・届出システム再構築業務仕様書（案）

### 1. 概要

本仕様書は、三重県（以下「本県」という。）の「令和 4 年度電子申請・届出システム再構築業務」（以下「本業務」という。）の提案に関し、必要な仕様を定めるものである。

### 2. 本業務の目的

行政手続きのオンライン化を推進するため、いつでも、どこでも、どなたでも簡単にオンライン手続きができる状況を目指し、現在運用している電子申請・届出システム（以下、現行システムと言う）の機能に加えて、スマートフォンへの対応など UI・UX の向上、電子認証（マイナンバーカード等の公的個人認証等）及び電子納付（クレジットカード等における決済）などの機能に対応した新システムへの再構築を行います。また、今後の申請増加への対応、県民サービスの向上や業務効率化等に資する機能の追加なども併せて行います。

### 3. 基本方針

#### （1）LGWAN-ASP によるサービスの提供

新システムと本県との接続は総合行政ネットワーク（以下「LGWAN」という。）を利用すること。

#### （2）利用者の利便性の確保

新システムを利用する県民、企業及び職員に対して、24 時間 365 日サービスを提供できることを原則とする。また、スマートフォンへの対応など UI/UX に優れた使いやすいシステムであること。

#### （3）安全性への配慮

申請データ等の安全とシステムの安定運用を確保するため、情報セキュリティ対策を十分に講じること。

#### （4）電子認証・電子収納への対応

本人確認としてマイナンバーカード等の電子証明書による認証及びクレジットカード等による手数料等の納付に対応していること。

#### （5）共通サービスの提供

個別の開発（カスタマイズ）は原則実施せず、IaaS、PaaS、SaaS の標準サービスとして提供すること。

#### （6）費用対効果の重視

現システムからの移行及び新システムの運用経費が低廉であり、品質の高いサービスが継続して提供されること。また、内部システムとのデータ連携など内部業務の効率化に配慮したものであること。

#### （7）想定データ量

新システムに登録する対象手続き等は、概ね下記の内容を想定しています。

- (1) 登録する受付フォーム数 (約 600 件)
- (2) 年間の想定申請データ数 (約 57,000 件)
- (3) 手続きガイダンスサービスの件数 (約 2,000 件)
- (4) 様式ダウンロードのデータ件数 (約 270,000 件)
- (5) 利用対象職員数 (約 5,000 人)
- (6) 利用者 ID 発行数 (約 30,000 人)

#### 4. 手続きの移行及び作成

現行システムで運用している手続きについて、複数の項目による条件分岐など比較的高度な作りこみをしている汎用申請フォーム 1 件と、単純なアンケートフォームや参加申し込みなどの簡易申請フォーム 20 件を移行すること。令和 5 年度から令和 8 年度は、汎用申請フォーム 1 件の手続きの作成をおこなうこと。

また、職員による手続きの移行や作成が円滑に行えるように支援すること。

#### 5. 機能要件

本システムの機能要件 (案) については、「資料 2 機能要件確認表」に示します。

#### 6. 職員研修

本システムに係る管理者及び担当者向けの研修を実施すること。令和 4 年度の研修は、1 回あたり 30 名を対象に 6 回行うこと。令和 5 年度から令和 8 年度の研修は、1 回あたり 30 名を対象に 2 回行うこと。

#### 7. 業務スケジュール (本県の想定)

	R4. 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R5	R6	R7	R8
現行システム運用	■	■	■	■	■	■	■						
入札・契約	■	■											
サービス利用設定			■	■	■								
試験運用、操作研修					■	■	■						
新システム正式運用							■	■	■	■	■	■	■